

ゆうこう
道政便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東3条北7丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

ふるさと 郷土の想いを質疑

予算特別委員会で、サンルダムや農業振興を質疑

代表
質問 木村政審会長登壇

平成19年第3回定例会は
9月11日に開会し、会期を
10月5日までの25日間と
することを決定。

代表質問は、9月14日か
ら始まり、民主党・道民連
合は、木村峰行政策審議会
長(旭川市)が、知事の政
治姿勢、道の財政運営、医
師不足等の地域医療対策、
高校再配置計画、などに
ついて質疑を行いました。

北口雄幸道議は、予算特



予算特別委員会第2分科会で質問する北口道議(9月28日)

別委員会に所属し、第2分
科会でサンルダムや農業の
振興策、食品加工業の振興
について質問しました。以
下、具体的質問内容は次の
とおりです。

サンルダムを質問

サンルダム計画変更の知
事意見書に関し、直轄ダム

「青空の集い」の開催 に対するお礼とお詫び

9月8日に開催しました「北
口雄幸道議と語る青空の集い」
は、台風の上陸のため室内で開
催し、肉等については引き替え
をさせていただきました。

会券をご購入いただいた皆
さんや当日ご参加いただきま
した皆さんに、心よりお礼とお
詫びを申し上げます。

今後とも、北口雄幸道議に対
しまして変わらぬご支援をよ
ろしくお願いいたします。

北口雄幸士別市後援会
会長 小 貫 勝太郎

のコスト縮減に対する国か
らの情報提供、利水が減つ
た原因と名寄市・下川町の
給水人口の推計方法と実際
の推移、計画変更に伴う事
業費変更の個別具体的内容
全体事業費に対する認識と
直轄負担金の支払額、今後
の事業費、直轄負担金に関
する認識、事業の見直しに
対する見解とダム頼らない
治水対策に係る考え方、な
どについて。

道住の公募増迫る

道営住宅に関し、公募の
回数増と定期的な公募実施
の見直し、公募の周知徹底
に係る具体的対策、市町村
の滞納者対策強化に向けた
道の見解、などについて。

BSE全頭検査を

BSE全頭検査問題に関
し、国からの通知に対する
道の見解、全頭検査継続に
係る消費者等からの意見聴
取時期及びその方法、全頭
検査実施の判断、などに
ついて。

牛肉の輸出拡大を

牛肉の海外輸出に関し、
道内農林水産物の輸出額の
推移及び輸出状況、農産物
の輸出効果及び輸出拡大に
対する道の認識、牛肉輸出
の課題、黒毛和牛輸出に係
る道の考え方、などにつ
いて。

戸別補償の導入を

農業者の経営安定対策に
関し、品目横断的経営安定
対策の改善要望に対する道
の考え方、道内における改
善要望の状況、現行政策の
評価、産地づくり交付金に
係る税制に対する道の認識
及び国への意見反映、戸別
補償政策に対する道の見解、

などについて。

食品加工業の振興を

食品工業の現状に関し、道内食品工業の製造業における位置づけ及び全国の傾向と比較した現状、道内食品工業の付加価値率が全国に比べて低い要因、付加価値率向上に向けた具体的な取り組み、「産業振興条例(素案)」における食品工業の位置づけ、「産業振興条例(素案)」の見直しに対する道の考え方 などについて。

補正で3兆5千億円に

可決された補正予算は、一般会計で18億1400万円、特別会計で10000万円補正し、19年度の予算総額は、一般会計2兆9161億円、特別会計5917億円の合計3兆5078億円となりました。

補正の内容は、18年度の公共事業費の確定に伴う国庫返納金16億円や農業経営総合支援事業費3千3百万円、鮭鱒増殖事業費5

千百万円などです。

採択された意見書

北方領土問題の解決促進等に関する意見書

割賦販売法の改正を求める意見書

「障害者権利条例」の早期批准を求める意見書

「先住民族の権利に関する国際連合宣言」に関する意見書

事業承継円滑化のための税制措置等に関する意見書

日本の医療と国民の安心を守るための意見書

品目横断的経営安定対策についての意見書

農地・水・環境向上保全対策に関する意見書

BSE全頭検査の継続を求める意見書

私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書

北海道新幹線の建設促進を求める意見書

ホームページ開設！ブログも連日更新中
<http://y-kitaguchi.net/>

写真で振り返る北口道議の活動記録



道路を埋め尽くした支持者の皆さん



投票日前日の街頭大集会でガッチリ握手



松岡婦人部長から花束をいただく

27454票で当選

ダルマにVで勝利宣言



土別地区メーデー(4/27)



富良野で街頭報告(5/2)



初質問を傍聴していただいた
皆さん(6/21自席にて)
救援米の田植え(5/25)



総合企画委員会で室蘭視察(8/22)
食と農を守る全道集会で農民連盟の
皆さんと(7/2)



民主党道政懇話会(5/25 南富良野町)



ことばの教室親子交流会で凧づくり(8/18)

あっという間の半年でした。今後とも皆さんの
ご支援をよろしくお願いいたします。

民主党岡田副代表(9/29)

安井吉典先生お見送り(6/1)

剣淵町の西岡ダム定礎式(5/25)



北口ゆうこう奮闘日記

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋してご紹介します。

7月27日【全上川農民連盟結成60周年を祝う会】

第2次世界大戦が終わった昭和21年11月、上川農民総同盟という組織が結成された。戦前の小作制度に反対する農民が、自分や家族の生活を守るために立ち上がったのだ。それから60年。

日本の農業は、その時々政権の道具に利用されつつ、闘いを進めてきた。まさに、搾取との闘いだったという。そんな歴史の中に、土別の



西原前委員長(左)と中田委員長(中央)

皆さんが多く係わったことを知り、自分としても嬉しくなる。(中略) だが、これからも盟友の皆さんとともに、もっと農家の皆さんが心身とともに家計が豊かになるよう、私も頑張ろうと思っています。

8月6日【環境広場「札幌2007」】

8月3日～5日の日程で、第10回環境広場「さつぽろ2007」が開催され、私も2日目の4日参加してきた。このイベントは、地球温暖化をはじめとする地球規模の環境問題を今一度見つめ直そうと、行政や民間企業が組織する実行委員会が主催し、今年で10回目の開催だ。土別

からは、ケナフで地球温暖化防止の活動をしている「北海道ケナフの会(卯城恵美子会長)」がケナフについての取り組み状況を報告し、ケナフの紙すき体験コーナーでも参加している。

私は、これからの温暖化対策は、市民ひとり一人の自覚と取り組みが必要である



ケナフで紙すきを指導する卯城会長

ことから、このようなイベントを通じての意識の高揚が求められていると思う。

8月25日【道立子ども総合医療・療育センター落成記念式典】

北海道立子ども総合医療・療育センターの落成記念式典が行われ、私も



入所者も参加した落成テープカット

参加してきた。この施設は、出生前から一貫した医療・療育体制を確保するため、高度で専門的な医療を担っている小児総合保健センターと療育機能を担っている札幌肢体不自由総合療育センターの機能を一体的に整備し、今年9月1日から開設するものである。

9月17日【朝日美土里ハイツ敬老会】

朝日町の特別養護老人ホーム「朝日美土里ハイツ」は、定員30床で社会福祉法人朝日福祉会が運営している。介護保険では、施設介護から在宅介護へ転換しようとしているが、しかし地域では施設に対する要望は多い。土別市と朝日町との合併協議においても、美土里ハイツの増床問題は議論され、20床を増床して50床とすることが確認されている。今日、美土里ハイツの敬老会に参加し、増床の補助申請なども順調に進んでいるとの報告を受けた。増床のための工事は、

来年から着工し年度内に完



朝日美土里ハイツでの敬老会

了する予定であり、平成21年4月には定員50床として生まれ変わる。(後略)

【ひとりごと】

来年の4月から、高齢者の医療制度が大きく変わる。これは、増え続ける高齢者の医療費を引き下げ、若者の負担を少なくする目的で導入されるのだ。新たな制度では、70～74歳の自己負担を1割から2割に増やし、75歳以上の方はすべての加入者から保険料を年金から徴収しようとするものである。参議選の結果を受けた政府は、新たな負担を凍結しようとしている。高齢者にとっては朗報だが、制度の仕組みが変わらないのが私は気になる。制度そのものが問題だからである。(ゆうこう)